

# 今週のフレーズ&ワード

## be at a crossroads

### ～岐路に立つ～

NO.④

転職が当たり前の海外では、ビジネスパーソンが集まるとキャリアがらみの話に花が咲きます。彼らは日本の終身雇用制度 (lifetime employment system) が実質的に崩壊し、転職が一般的になってきたことを知っています。とは言っても、新卒の3分の1が3年以内に転職するという事実には驚く人が多いですね。日本の転職市場の話題もさることながら、自分自身のこれまでのキャリア、将来のプランなどについてオープンに話してみると、自分では思いつかないような意見を聞くことができるかもしれません。

**At the age of 30, I was at a crossroads in my career.**

**30歳のとき、私はキャリアの岐路に立っていました。**

be at a crossroads (岐路に立つ) というフレーズです。次のステップについて重大な決断をしなければならぬときにぴったりです。crossroads は「交差点、十字路」。交差点にいる→岐路に立つ、となります。2つの道が交わることから複数形 (crossroads) ですが、交差点は1つなので単数扱いです (a crossroads)。

「気づいてみると重大な岐路に立っていた」と言いたいときは、find oneself (気づく) を使って I found myself at a crossroads. と表現することができます。

**The competitiveness of our company's research capabilities is at a crossroads.**

**わが社の研究力に関わる競争力は岐路に立たされています。**

同じ用法で、このままでは競争力を維持するのは難しいというニュアンス。次のキャリアを考えるには、個人の思いだけでなく会社の事情も絡んできます。

capability は「能力」ですが、複数形の capabilities で使うと、「将来に到達すると思われる水準」という意味を含むようになります。

**The Japanese universal health insurance system stands at a crossroads.**

**日本の国民皆保険制度は岐路に立っています。**

be 動詞の代わりに stand (立つ) が使われています。高齢化による社会保障費の増大で、国民皆保険が維持できるか、正念場を迎えているという一文です。

健康保険は health insurance。それに universal (万人の、普遍的な) を加えることで「国民皆保険」の“皆”のニュアンスを出すことができます。

#### 単語・熟語チェック

competitiveness 競争力

capability 能力

universal 万人の、普遍的な

health insurance 健康保険